

平成24年3月13日

H23. 06. 29 第1回サーベイ試料配布
凍結プール血漿 2種類

H23. 08. 04 第1回伊勢志摩地区凝固検査標準化懇話会 (7施設 10名)

①H23年度第1回サーベイ結果について

1. PT INRのCVは、5～6%台となり、PT%表示では8～10%とバラツキがみられました。
2. APTTについて以前、エラグ酸使用の試薬での延長の傾向がみられたが、今回ではその様な事は認められなかった。1施設が他施設より短縮されていました。
3. 全体に試料2 (低値) にてCVが高めとなりました。
4. 次回は、【三菱化学メディエンス】による勉強会を予定しています。

H23. 08. 30 第2回サーベイ試料配布 (三重県臨床検査精度管理調査 血液試料②③)

H23. 11. 11 第2回伊勢志摩地区凝固検査標準化懇話会 (7施設 9名)

1. 【三菱化学メディエンス】凝固線溶系の基礎の勉強会
凝固線溶反応・凝固時間・凝固線溶分子マーカー・抗凝固剤についての基礎を講演していただきました。
凝固担当者ではない人達にも聞いて頂けたらと思いました。
抗凝固剤については、今日、新薬が話題となっていますが、色々と問題点もある事がわかりました。
2. 三重県サーベイとの結果の差の検討ですが、PTに関してはほぼ同じ様な結果でした。
APTTはデータファインを使用している施設が、三重県サーベイでも試料③のCV値が14%と高値のため伊勢志摩地区も17%という結果になったと思われます。
TTは三重県サーベイと同じ様にCV値は14～16%とバラツキが大きく検量線の見直しをする事も必要かと思われます。
Fibに関しては、CV値7%とでいつもより良好な結果となりました。

H24. 02. 25 第3回サーベイ試料配布

ヒモスアイエル ノーマルコントロール
ヒモスアイエル LOWアブノーマルコントロール

H24. 02. 28 第4回サーベイ試料配布 (三重県臨床検査精度管理調査 血液試料L H)

H24. 03. 13 第3回伊勢志摩地区凝固検査標準化懇話会 (5施設 11名)

1. 昨年と同様のコントロール血漿を使用し、又伊勢日赤が測定機器と試薬等が変更になってから初めてのサーベイの結果です。
PT INRはノーマル検体は3.6→3.2と良好な結果でしたが、アブノーマル検体で2.3→4.8という結果でした。PT%表示ではばらつきがみられました。
APTTはノーマルに関してはCV値2.3と良好な結果でした。
Fibですが、サーベイ後にシスメックスより「Fib標準血漿」の表示値修正でWHO標準品よりも約10%低く設定されているとの連絡が入りました。サーベイのCV値は5～7%でしたが、仮に「Fib標準血漿」の表示値修正後であればもう少し良好な結果となったと思われます。
2. 第4回サーベイの結果は、第2回と同じようなデータで、特にAPTTでは良好な結果となりました。
3. 志摩市民病院・伊勢総合病院より提示された標本について鏡検・検討いたしました。
4. 4月に保険点数の改正に伴って、血液像の目視標本の請求方法などについて。
5. H24年度の活動について
来年度は、コントロール血漿も含めて3回としたいと思います。
又、各施設より希少症例や判断が難しかった症例などを持ちより検討をする。